

福岡県行動援護従業者養成研修事業実施要綱 新旧対照表

改正後			改正前		
行動援護従事者養成研修課程カリキュラム			行動援護従事者養成研修課程		
科目名	時間数	内容	科目名	時間数	内容
1 講義	10		1 講義	10	
1) 強度行動障がいがある者の基本的理解	1.5	①強度行動障がいとは	1) 強度行動障害がある者の基本的理解	2.5	①強度行動障害とは
		②強度行動障がいと医療			②強度行動障害と医療
2) 強度行動障がいに関する制度及び支援技術の基礎的な知識	5	①強度行動障がいと制度	2) 強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎的な知識	3.5	①強度行動障害と制度
		②構造化			②構造化
		③支援の基本的な枠組み			③支援の基本的な枠組みと

		と記録	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の基本的なプロセス ・アセスメント票と支援の手順書の理解 ・記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ 			記録	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の基本的なプロセス ・アセスメント票と支援の手順書の理解 ・記録方法とチームプレイで仕事をする大切さ
		④虐待防止と身体拘束	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障がいと虐待 			④虐待防止と身体拘束	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止法と身体拘束について ・強度行動障害と虐待
		⑤実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・児童期における支援の実際 ・成人期における支援の実態 			⑤実践報告	<ul style="list-style-type: none"> ・児童期における支援の実際 ・成人期における支援の実態
3) 強度行動障がいが ある者への チーム 支援	<u>3</u>	①強度行動障がい支援の 原則	<ul style="list-style-type: none"> ・チームによる支援の重要性 ・支援の6つの原則 ・地域で強度行動障がいの人を支える 	3) 強度行動障害があ る者への チーム支 援	<u>2</u>	①強度行動障害支援の原則	<ul style="list-style-type: none"> ・チームによる支援の重要性 ・支援の6つの原則 ・地域で強度行動障害の人を支える
4) 強度行動障がいと 生活の組 立て	0. <u>5</u>	①行動障がいのある人の 生活と支援の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障がいのある人の家族の想い ・日中活動場面における支援 ・夕方から朝にかけての支援 ・外出場面における支援 	4) 強度行動障害と生 活の組み 立て	<u>2</u>	①行動障害のある人の生活 と支援の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・行動障害のある人の家族の想い ・日中活動場面における支援 ・夕方から朝にかけての支援 ・外出場面における支援
2 演習	1 4						
1) 基本的な 情報収集 と記録等 の共有	1	①情報収集とチームプレ イの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の入手とその方法 ・記録とそのまとめ方と情報共有 ・アセスメントとは 	1) 基本的な 情報収集 と記録等 の共有	1	①情報収集とチームプレ イの基本	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の入手とその方法 ・記録とそのまとめ方と情報共有 ・アセスメントとは
2) 行動障が いがある	<u>3</u>	①固有のコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なコミュニケーション方法 ・コミュニケーションの理解と表 	2) 行動障害 がある者	<u>2. 5</u>	①固有のコミュニケーショ ン	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なコミュニケーション方法 ・コミュニケーションの理解と表

者の固有のコミュニケーションの理解			出 ・グループ討議/まとめ	の固有のコミュニケーションの理解			出 ・グループ討議/まとめ
3) 行動障がい背景にある特性の理解	1. 5	①行動障がいの背景にあるもの	・感覚・知覚の特異性と障がい特性 ・行動障がいを理解する氷山モデル ・グループ討議/まとめ	3) 行動障害背景にある特性の理解	2. 5	①行動障害の背景にあるもの	・感覚・知覚の特異性と障害特性 ・行動障害を理解する氷山モデル ・グループ討議/まとめ
4) 障がい特性の理解とアセスメント	3	①障がい特性とアセスメント	・障がい特性の理解 ・障がい特性に基づくアセスメント ・行動の意味を理解する	4) 障害特性の理解とアセスメント	2. 5	①障害特性とアセスメント	・障害特性の理解 ・障害特性に基づくアセスメント ・行動の意味を理解する
5) 環境調整による強度行動障がいの支援	3	①構造化の考え方と方法	・強みや好みを活かす視点 ・構造化の考え方 ・構造化の方法	5) 環境調整による強度行動障害の支援	3. 5	①構造化の考え方と方法	・強みや好みを活かす視点 ・構造化の考え方 ・構造化の方法
		②支援の手順書の作成	・日中活動場面における支援の手順書 ・外出場面における支援の手順書			②支援の手順書の作成	・日中活動場面における支援の手順書 ・外出場面における支援の手順書
6) 記録に基づく支援の評価	1. 5	①記録の収集と分析	・行動の記録の方法 ・記録の整理と分析 ・再アセスメントと手順書の修正	6) 記録に基づく支援の評価	1	①記録の収集と分析	・行動の記録の方法 ・記録の整理と分析 ・再アセスメントと手順書の修正
7) 危機対応と虐待防止	1	①危機対応と虐待防止	・危機対応の方法 ・虐待防止と身体拘束	7) 危機対応と虐待防止	1	①危機対応と虐待防止	・危機対応の方法 ・虐待防止と身体拘束

合 計

2 4

合 計

2 4